

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		防災拠点整備事業（都市再生整備計画事業）						予算事業名		防災拠点整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市再生特別措置法 都市計画法 都市公園法				
			08	03	05	2502	経常経費						
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう							事業の区分	主要事業				
	安全に暮らせるまちづくり												
	防災対策の充実							担当課係等	都市計画課 住宅公園係				
事業期間		継続 （令和 2年度～令和 6年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
浦町児童公園と元公民館跡地を一体化した、新たな防災拠点を整備することにより、防災時に市民・観光客等の迅速な避難が行え、飲料水の支援が行える避難場所を設け、安全安心な市街地を目指す。							都市再生整備計画事業による、防災拠点整備を行うことにより、安全安心な市街地を形成する。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
都市再生整備計画事業【地域生活基盤事業】 R2 耐震性貯水槽整備実施設計 防災拠点整備工事（第1期工事） R4 防災拠点整備工事（第2期工事） R5 効果促進事業 R6 効果促進事業							地域住民及び観光客とを対象とした整備						
							【事業をとりまく環境の変化】 地震・水害・ゲリラ豪雨等の自然災害の多発、新型コロナウイルス感染など様々な災害や感染症にも対応できる、防災拠点がある市街地整備が必要。						
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
防災拠点整備工事（第2期工事）				効果促進事業 防災拠点訓練活動				効果促進事業 防災拠点訓練活動					
■事業費													
				R02年度		R03年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	25,713						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	34,700						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	4,048	3,871						
歳入計（千円）				4,048		64,284							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	12 委託料			4,048		0							
	14 工事請負費			0		64,284							
歳出計（千円）（A）				4,048		64,284							
伸び率（％）						1,488.04							
備考	総合計画 73 ページ 予算書 148 ページ												

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	防災拠点整備	%	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	11.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	耐震性貯水槽	基	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	公園と一体化した防災拠点による地元訓練	回	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地震・水害等の自然災害の激甚化により、防災を意識した市街地整備は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	拠点整備や防災施設は市が行うべき。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	施設は市で整備していくが、普段の維持管理や、災害時の作業など地元の人々を巻き込んだ管理運営が必要である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	コスト削減を意識した整備を行う。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民及び観光客を対象とした整備を目指している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	自然災害ばかりではなく、コロナウイルスによる感染症対策等、市民の防災による意識は高くなり、多方面に対応できる拠点整備が必要である。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	整備担当者の経験不足により、工事が遅れたり、その他事業と重なる部分があり事業繰り越す場合がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
整備計画の目的と、方向性を理解したうえで整備を行うには、職員の意識づけも必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
激甚化する自然災害、新型コロナウイルス感染による新たな感染症対策など、市民の安全を確保するために、避難所ばかりではなく、様々な対策に対応できる仮設施設を設置対応できるような整備も必要である。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 整備内容等の詳細については、防災拠点活用担当の防災安全課と連携し進めていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	